

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【公開番号】 特開 2006-54143 (P2006-54143A)
 【公開日】 平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-008
 【出願番号】 特願 2004-236286 (P2004-236286)
 【国際特許分類】

H 0 1 J 31/12 (2006.01)

H 0 1 J 9/24 (2006.01)

H 0 1 J 29/87 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 31/12 C

H 0 1 J 9/24 A

H 0 1 J 29/87

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 8 月 8 日 (2007.8.8)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

陽極及び蛍光体を内面に有する前面基板と、
 複数の電子源を内面に有して前記前面基板と所定の間隔をもって対向する背面基板と、
 前記前面基板と前記背面基板間に形成される表示領域を周回して介挿され、前記所定の
 間隔を保持する支持体と、

前記表示領域内で前記前面基板と背面基板間に介挿されてこれら両基板にそれぞれ固定
 材を介して固定された複数の間隔保持部材と、

前記支持体と前記前面基板及び背面基板とをそれぞれ封着部材を介して気密封着してな
 る表示装置であって、

前記間隔保持部材は前記固定材の溶解固定構造と溶解固定構造を含む複合固定構造で前
 記基板と固定してなることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 2】

前記間隔保持部材は一端側を前記複合固定構造で前記固定材を介して基板と固定し、他
 端側を 1 つの固定構造で前記固定材を介して基板と固定してなることを特徴とする前記請
 求項 1 に記載の画像表示装置。

【請求項 3】

前記 1 つの固定構造は前記固定材の溶解固定であることを特徴とする前記請求項 2 に記
 載の画像表示装置。

【請求項 4】

前記間隔保持部材は一端側を前記複合固定構造で前記固定材を介して前記前面基板と固
 定し、他端側を 1 つの固定構造で前記固定材を介して前記背面基板と固定してなることを
 特徴とする前記請求項 3 に記載の画像表示装置。

【請求項 5】

前記固定材は焼結性の金属微粒子を含むことを特徴とする前記請求項 1 乃至 4 の何れか
に記載の画像表示装置。

【請求項 6】

前記固定材の焼結性の金属微粒子は銀、金、ニッケル、白金の群から選ばれた何れか1種若しくはそれらを主成分とする合金からなることを特徴とする前記請求項 1 乃至 5 の何れかに記載の画像表示装置。

【請求項 7】

陽極及び蛍光体を内面に有する前面基板と、
複数の電子源を内面に有して前記前面基板と所定の間隔をもって対向する背面基板と、
前記前面基板と前記背面基板間に形成される表示領域を周回して介挿され、前記所定の間隔を保持する支持体と、

前記表示領域内で前記前面基板と前記背面基板間に介挿されてこれら両基板に固定材を介して固定された複数の間隔保持部材と、

前記支持体と前記前面基板及び背面基板とをそれぞれ封着部材を介して気密封着してなる表示装置の製造方法であって、

前記間隔保持部材の一端側を前記固定材を溶融して前記基板に固定した後、前記固定材を溶解して前記一端側を前記基板に更に固定することを特徴とする画像表示装置の製造方法。

【請求項 8】

前記間隔保持部材の一端側を前記固定材を溶融及び溶解して一方の基板に固定した後、他端側を他方の基板に前記固定材を溶解して固定することを特徴とする前記請求項 7 に記載の画像表示装置の製造方法。